

研究構想シート		学校名	出雲市立湖陵小学校
		氏名	園山奈都子
A 研究主題 主体的・対話的に学び、確かな学力を身につけている子どもの育成 ～国語科「話すこと・聞くこと」教材の授業改善を通して～			
B 研究の目的 主体的・対話的に学び、確かな学力を身につけている子どもを育てるために、国語科「話すこと・聞くこと」教材の授業づくりを通して、その効果的な取り組みを探る。			
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・素直で優しい児童が多い。 ・体験的活動を好む。 ・体を動かしてよく遊ぶ。 ・グループ活動やペア活動を好む。 ・積極性や主体性に課題がある。 ・聞く力が弱い。 	E 手立て・内容（研究仮説） 【研究仮説1】 ゴールを明確にした単元構成や「めあて」と「振り返り」を大切にした学習過程を工夫すれば、主体的で深い学びのある授業になり、児童は見通しをもちながら、進んで学習に取り組むことができるであろう。 ○研究仮説1に関わる研究内容 ①つけたい力を明確にした単元構成と学習計画 ②授業スタンダードの活用 ③家庭学習の習慣化 【研究仮説2】 国語科「話すこと・聞くこと」の学習過程で、思いや考えを伝えあう場の設定や支援の仕方を工夫すれば、対話的で深い学びのある授業になり、児童は自分の考えを深めることができるであろう。 ○研究仮説2に関する研究内容 ①考えを形成するための支援 ②思いや考えを伝えあい、広げたり深めたりする場の設定 ③語彙力を高めるための工夫 ④ICTの活用		D めざす子どもの姿 自分の意見を明確にもち、伝えあうことを通して自分の考えを深めることができる子ども
	F 検証方法 2月に「校内研究 振り返りシート」を教職員に配付し1年間の振り返りを記入し検証 <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容が達成できたか ・児童の力がどのような点で伸びたか ・研究に関する成果と課題 ・来年度の研究についての希望など 		
	G 研究計画 4月…研究概要、研究組織、研究計画等立案 5月…学力向上学校訪問 ICT活用に関する研修申し込み 6月…「話す・聞く」についての課題把握 7月…夏季休業中の研修計画立案 8月…教材研究 研究授業指導案作成 校内研修（国語科 ICT活用など） 学力向上分析 10月…国語科訪問指導（3年） 11月…体育科授業公開（2年） 同和問題学習授業公開（6年） 2月…学力向上策のまとめと次年度の課題の検討 研究の成果と改善策のまとめ		